

研究課題名	Virtual scale endoscope を用いた生体内での大腸腫瘍径測定の有 性とその教育効果に関する研究
研究責任者名	広島大学病院 内視鏡診療科 教授 田中 信治
研究期間	2022 年 1 月 23 日(倫理委員会承認後)~2032 年 12 月 31 日
対象者	・ 2021 年 8 月 20 日~2021 年 10 月 31 日の間に、内視鏡治療前に Virtual scale endoscope (VSE) を用いて腫瘍径を測定した患者さんを対象としました。教育効果の判定には当科の医師 14 名を対象としました。
意義・目的	VSEの臨床的有用性およびVSEを用いた大腸腫瘍径に関する教育の有用性を明らかにすることを目的とします。これにより、腫瘍径の推定精度の向上とそれによる大腸腫瘍の適切な治療方針や治療法選択を行うことが可能となるという意義を有すると考えます。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。カルテから使用する内容は、年齢、性別、既往歴、画像所見、治療法、病理学的所見などです。教育効果に関しては、VSE 画像を用いたレクチャーの直前と 1 ヶ月後でそれぞれ対象の医師に対して行った腫瘍径のテスト結果から、その正診率の変化を比較します。なお、個人を特定可能な情報は解析に用いませぬ。
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学病院 教授 田中信治
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。なお、教育効果の有用性を検証するために収集した情報は、個人情報とは一切結びつかないようにして使用するため、研究への参加を取りやめることはできません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5939 広島大学病院 消化器内科 教授 岡 志郎